

学校再開が楽しみ！

2年生の A さんは、10日の登校日に折り紙で作ったものを大事そうに持ってきました。新年度、学級の「かざりがかり」になったことから、クラスに飾るものをこつこつとつくっていたそうです。登校するとつくったものをうれしそうに説明しながらみんなに手伝ってもらって、壁に飾り付けていました。教室が明るく楽しくなり、手伝う子どもたちもニコニコとうれしそうでした。休み中であっても、学級での楽しい生活をイメージしながらみんなのためになることを考えて行動してくれているのだと思うと、とてもうれしくなりました。



この続きは学校が再開したらできるよ！
壁いっぱい飾ったら楽しいね！

17日（金）に予定していた登校日ですが、学区に接する近隣の保育園で園児の感染が確認されたことから、中止といたしました。本校関係者に濃厚接触者等はいませんでした。大事をとっての措置です。ご理解のほどよろしくお願いいたします。22日の学校再開で、子どもたちの元気な姿に会えるのを楽しみにしています。

ところで、今回の休業中における児童の預かりは、12名の方が申し込まれ、毎日6～7名の方が利用されています。今回は、対象を6年生まで広げています。必要が生じた場合は、お子さんをお預かりしますので連絡をお願いします。

梅校今年の取り組みについて ～その2～

「よろこびのある梅校」をめざして3つの視点で取り組みます

1 「よろこびのある授業」

2 「よろこびのある自分づくり・仲間づくり」をめざします

- (1) あいさつ日本一の学校をめざします。
本校創立以来の伝統であるあいさつを大事に指導します。
- (2) 自己承認、他者貢献、感謝する心を大切にします。
「こんな自分で(が)いいんだ (I'm OK)」という気持ちをもてるように励ましていきます。また、人（学級）の役に立つ体験を大切にしながら、「みんなの役に立つよろこび」や「自己成長のよろこび」を大切にしていきます。合わせて、感謝の気持ちが伝えられるようにします。
- (3) 自分の体についての関心を高め、主体的に体を鍛えたり健康に気をつけて生活したりできるようにします。
ICT 機器を活用しながら「梅校ハイタッチマシーン」の活用とランニングの日常化を図ります。



前回のクイズの答え：マスクづくりでした。学校で使用するマスクを手作りしています。なお6年生には、家庭科のミシンの学習の一環としてマスク作りを手伝ってもらおうと準備中です。